

『マネジメント』の継続学習と My-MS C

## 1. 研究会に入った経緯

森岡先生とのご縁にてドラッカー「マネジメント」研究会に入会しました。森岡先生が講師を務められた日経 BP 社の IT 系講習会に参加し、その後の IT 勉強会等でご一緒させて頂く機会を頂きました。2019 年 5 月の“ドラッカー学会 総会&大会 ネクスト・ソサエティ・フォーラム 2019”や同年 9 月のドラッカー学会主催“『断絶の時代』 Post 50 years of Discontinuity 研究報告会”をご紹介頂き参加した後に、2020 年 5 月の第 72 回「マネジメント」研究会より参加させて頂いています。

自分自身が長年管理職として業務しながら、どこかマネージャーの基礎がなく足腰が弱いような、自分は正しくマネジメントを出来ているのかという思いの中で、**ドラッカーを学ぶことでその土台が出来るような思い**に至り研究会に入会しました。また、入会への背中を押していただいたのは、2019 年に何度か研究会員皆様とのお話をする機会があり、その当時はリアルな飲み会の席だったのですが、**研究会メンバー皆様との出会い**だったと思います。**研究会メンバー皆様のお人柄や真摯に学ぶ姿勢**に触れることが出来て、お仲間に入れて頂き学びたいという思いになりました。

## 2. 小さな学校での学び

2020 年 2 月の“小さな学校”にも参加しましたが、2021 年開校の“小さな学校”は、前年とは大きく形を変えて、4 回開催で研究会員だけでなくオープンな学び舎として“【エッセンシャル版】マネジメント基本と原則”を学ぶ“小さな学校”になりました。4 回を通して NAVI として参加させて頂きましたが、NAVI というよりは一人の生徒として学ぶことばかりで、毎回その内容や学びのスピードにもついていくのが大変でした。「ドラッカーの言葉で学び、考え、答える」という視点や、英語原文により説明頂いた内容は特に印象的でした。英語原文の紹介では、「日本語訳では、真摯さは後天的に獲得することが出来ない」とされているが、英語原文ではマネージャーになる前に身につけるとある、「マネジメントとはスキルとツールと条件を統合すること」「強みはスキルではなく、Capacities であり、器である」「自己実現は achievement で、成果をあげる」等も学ぶことが出来ました。

小さな学校では、**同級生（参加者）からの学び**も有難い機会でした。セッション 3 演習課題などブレイクアウトセッションや、放課後の懇親会を通じて、**参加者皆様の視点や意見に触れる機会**が多くありました。参加者皆様それぞれに現場や悩みも異なる中で同じテーマを共に考え、答え、そして学びあうという場であったと思います。さらに、**参加者皆様**は、お休みの日に貴重な時間を使って集まり学んでおり、**その熱量は画面を通して伝わり、エネルギーに溢れた学びの場**でもあるので、大変貴重な機会であると感じました。

2021 年の第 1 回、2022 年の第 2 回を通じて NAVI として参加させて頂きましたが、**第 2 回は前回よりもさらに熱量が高く、小さな学校の思いが徐々に伝播している**ような印象があります。不確実性の時代において、ドラッカーの学びに人がさらに集まるのだと思います。自分自身も、今後も継続して参加し学び続けたいと考えています。

## 3. My-MS C へのチャレンジ、My-MS C の改訂

昨年の“小さな学校”第 1 回の終了後にはなりましたが、My-MS C を作成し提出することが出来ました。My-MS C を簡単に作成することは出来ず、今から思えば視点が定まらず中途半端な My-MS C だったと思います。これは、昨年 2 月に現在の会社に転職して職場環境が変わったこともあるのですが、自分自身の不勉強さ故に作成が上手く出来なかったのだと思います。第 2 回“小さな学校”を修了し、現在 My-MS C の改訂を進めています。

(略) My-MS C は省略しました。